

平成 16 年度 秋期 情報セキュリティアドミニストラータ試験 解答例

午後 試験

問 1

設問	解答例・解答の要点		備考
設問 1	(1)	a 不正アクセス行為の禁止等に関する法律 又は 不正アクセス禁止法	
	(2)	b 著作	
		c 特許	
	(3)	d 工	
		e 才	
設問 2	発言番号	17	
	理由	業務委託先の情報セキュリティの管理状況を把握していないから	
設問 3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 秘密情報とそれ以外が区別されていること ・ 秘密情報をアクセスできる者が制限されていること 		
設問 4	(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報の外部流出リスクの増大に対する従業員の無関心 ・ 従業員が情報の外部流出リスクに気付いていないこと 	
	(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 課長は業務を熟知しているので、職場の業務特性や情報の重要度に即した説明を行えること ・ 同じ職場の課長が説明することで、情報流出の危険が自部門にも存在することを実感できること 	

問 2

設問	解答例・解答の要点		備考
設問 1	a	B	
	b	C	順不同
	c	H	
	d	E	順不同
	e	F	
設問 2	各社内サーバの時刻を同期させること		
設問 3	(1)	(a)改ざん 又は (b)破壊 又は (c)消去	
	(2)	<p>次の内容のいずれかを理由として説明していること</p> <p>(1)で(a)又は(b)又は(c)を解答した場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 同じログが複数のサーバに保管されることによって、それらすべてが脅威にさらされる可能性が低くなる。 ・ 同じログが複数のサーバに保管されているため、一方のログがもう一方のログのバックアップとして機能している。 <p>(1)で(a)を解答した場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 複数のサーバに保管されたログを相互に比較することによって、改ざんを検知できる。 	
設問 4	(1)	<p>次の内容のいずれかを理由として説明していること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ アカウントの正当な所有者によるログインと、なりすましによるログインが、ログの記録項目だけでは区別できないこと ・ ログに記載されたアカウント名だけでは、実際にアカウントを利用した社員を特定できないこと 	
	(2)	<p>表 2 に示した “ 記録される項目 ” を用いて、次の内容のいずれかについて具体的に記述していること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 普段ログインする時間帯やログインに利用する機器の IP アドレスなど、通常時におけるログイン / ログアウトのパターンを把握しておくこと ・ なりすましが発生した場合のログイン / ログアウトの時間帯や送信元 IP アドレスなどを記録しておき、異常状態の検知に役立てること 	

問3

設問	解答例・解答の要点		備考			
設問1	a	カ				
	b	ア				
	c	ク				
設問2	次の内容のいずれかを適切に記述していること ・ Web_1～4, Proxy を対象に, ワーム U の感染の有無を調べること ・ FW 又は Proxy を対象に, 営業部員のノート PC から社外へのワーム U の FTP 転送が行われていないかを調べること					
設問3	アンケートで収集した個人情報の漏えい					
設問4	(1)	例えば“ Web_1 と Web_4 間の通信 ”, “ ノート PC と Web_1 間の通信 ” のように次の二つの条件を満たす通信を, 送受信機器の組合せで記述していること 条件1: 図1のフィルタリング確定内容で許可されている通信であること 条件2: 本文中が必要であることが示されている“ イン트라ネットの全ノート PC から Proxy 経由で社外サーバに至る通信 ” 以外の通信のあること				
	(2)	<table border="1"> <tr> <td>d</td> <td>・すべての Web サーバにウイルス対策ソフトを導入する。</td> </tr> <tr> <td>e</td> <td>・すべての Web サーバに最新のセキュリティパッチを適用する。 ・すべてのサーバの不要なサービスを停止する。 ・ノート PC の持ち出し管理に関する規則を制定し運用する。</td> </tr> </table>	d	・すべての Web サーバにウイルス対策ソフトを導入する。	e	・すべての Web サーバに最新のセキュリティパッチを適用する。 ・すべてのサーバの不要なサービスを停止する。 ・ノート PC の持ち出し管理に関する規則を制定し運用する。
d	・すべての Web サーバにウイルス対策ソフトを導入する。					
e	・すべての Web サーバに最新のセキュリティパッチを適用する。 ・すべてのサーバの不要なサービスを停止する。 ・ノート PC の持ち出し管理に関する規則を制定し運用する。					

問4

設問	解答例・解答の要点		備考
設問1	a	ICカード 又は IDカード 又は 入館許可証	
	b	監視カメラ 又は 防犯カメラ 又は 監視装置	
設問2	4	番号	(2)
		理由	非常用電源だけでは瞬断のおそれがあるから
		要件	・UPSを設置すること ・CVCFとUPSを併用すること
	5	番号	(2)
		理由	・断水時に空調機が運転できないから ・給排水管の損傷によって運転できないから ・給排水管の漏水で機器が損傷を受けるから
		要件	空冷式の空調機を採用すること
	6	番号	(2)
		理由	泡消火では機器への悪影響があるから
		要件	不活性ガスを用いた消火設備を用いること
	7	番号	(1)
理由		網入りガラスは破壊されるおそれがあるから	
要件		・二重合わせガラスなど材質を強化すること ・外壁に窓ガラスを設置しないこと ・シャッターや鉄格子などで補強すること	
設問3	(1)	1.(2)	
	(2)	・FWの常時ログ監視サービス ・ホスト型IDSによる常時監視サービス	
	(3)	・ネットワーク型IDS設置による常時監視サービス ・IPS設置による常時監視サービス	